

教育研究評議会議事録（第167回）

日 時：平成30年4月19日（木） 15時00分～16時23分

場 所：事務局2階 第一会議室

出席者：岩淵、小川、丸山、菅原、佐々木、吉川、八代、喜多、横山、船崎、高畑、佐藤、
比屋根、関野、宮本、松岡、山本（昭）、宇佐美、田代、藤代、長田、萩原、倉島、
山本（欣）

欠席者：上村、遠藤、斎藤、菊地

配付資料

- 参考資料1 国立大学法人岩手大学教育研究評議会規則
- 参考資料2 岩手大学教育研究評議会評議員名簿
- 資料1 国立大学法人岩手大学学長選考会議規則
- 資料2 - 1 名誉教授の称号授与について
- 資料2 - 2 岩手大学名誉教授称号授与規則
- 資料3 - 1 「岩手大学危機管理体制について（案）」についての意見への回答
- 資料3 - 2 岩手大学危機管理体制について（修正案）
- 資料3 - 3 【参考資料】地震避難マニュアル 他
- 資料4 平成30年度における学長の補佐体制について
- 資料5 岩手大学教育研究施設長等の任命等について
- 資料6 役員会報告について
- 資料7 学長・副学長会議報告について
- 資料8 平成30年度の入学者数について
- 資料9 平成30年度 定例会議開催日程

議事に先立ち、学長から新任の理事・事務局長、獣医学研究科長及び評議員の紹介があった。また、前回議事録について原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1. 国立大学法人岩手大学学長選考会議委員について

学長から、国立大学法人岩手大学学長選考会議委員について諮る旨が述べられ、始めに、資料に基づき、岩手大学学長選考会議規則第3条により、学長選考会議の委員は経営協議会の学外委員から4名、理事から1名、教育研究評議会の学長及び理事以外の評議員から4名を選出することになっていることについて説明があり、次いで、各学部評議員から1名ずつ推薦していただくことよろしいかとの提案があり、審議の結果、了承された。

次に、各学部長から候補者の推薦をいただき、下記の候補者について、審議の結果、了承された。

【教育研究評議会からの学長選考会議委員】

人文社会科学部	山本昭彦	教授
教育学部	田代高章	教授
理工学部	藤代博之	教授
農学部	倉島栄一	教授

また、学長から、理事からの学長選考会議委員について、理事・事務局長である佐々木理事にお願いすることが役員会で決定している旨が述べられた。

2. 名誉教授の称号授与について

学長から、名誉教授の称号授与について諮る旨が述べられ、次いで、資料に基づき、各学部長等から候補者の功績等について説明があり、審議の結果、候補者 11 名全員に名誉教授の称号を授与することが了承された。

なお、学長から、称号授与式を 6 月 2 日（土）の開学記念行事の際に行うため、役員及び学部長は参加して欲しい旨の依頼があった。

3. 岩手大学危機管理体制について

学長から、岩手大学危機管理体制について諮る旨が述べられ、始めに、小川理事から、前回（第 166 回）教育研究評議会で提案した新たな危機管理体制（案）について各学部から 4 月 10 日までに意見が出されたこと、出された意見を踏まえ修正案を提案することが述べられた。次いで、総務広報課長から、資料に基づき、意見への回答や修正案について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、5 月 1 日付けで、岩手大学危機管理規則及び岩手大学リスクマネジメント指針を制定し、岩手大学防災・防火管理規則を一部改正し、岩手大学危機対策要項及び岩手大学危機対策マニュアルを廃止する旨の付言があった。

4. その他

なし

報 告

1. 平成 30 年度における学長の補佐体制について

学長から、資料に基づき、平成 30 年度の学長の補佐体制について、学長補佐（教育企画担当）に後藤尚人人文社会科学部教授、学長特別補佐に小野寺純治特任教授、顧問に村上清氏及び中島武幸氏を任命したことの報告があった。

2. 教育研究施設長等の任命等について

学長から、資料に基づき、教育研究施設長等の任命等について報告があった。

3. 役員会報告

学長から、資料に基づき、役員会（第 508 回）について報告があった。

4 . 学長・副学長会議報告について

学長から、資料に基づき、学長・副学長会議（第 116 回）について報告があった。

5 . 平成 3 0 年度の入学者数について

丸山理事から、資料に基づき、平成 3 0 年度の入学者数について報告があった。

6 . その他

学長から、資料に基づき、平成 3 0 年度の定例会議日程について、経営協議会日程が決まったことの報告があった。

学長から、次回の教育研究評議会を、定例の 5 月 3 1 日（木）の 1 5 時から開催することが述べられた。